令和8年10月15日

# 要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断結果

## 【体育館（一般公共の用に供されるもの）】

| No. | 建築物の名称 | | 建築物の位置 | 建築物の主たる用途 | 耐震診断の方法の名称 | 構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果 | 耐震改修等の予定 | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | 内容 | 実施時期 | |
| 1 | 米子市民体育館 | | 鳥取県米子市<br>東山町106番地4 | 体育館 | | | | | |
| | | 屋根部分 | | | — | — | | | 除却済 |
| | | 屋根以外の部分 | | | — | — | | | 除却済 |

## 【病院、診療所】

| No. | 建築物の名称 | | 建築物の位置 | 建築物の主たる用途 | 耐震診断の方法の名称 | 構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果 | 耐震改修等の予定 | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | 内容 | 実施時期 | |
| 1 | 国立大学法人<br>鳥取大学<br>第二中央診療棟 | | 鳥取県米子市<br>西町36番地1 | 病院 | （一財）日本建築防災協会による　「既存鉄骨鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造建築物の耐震診断基準」に定める「第２次診断法」<br>（1997年版） | Is/Iso=1.01<br>$C_{TU}$・$S_D$=0.62 | | | 改修済<br>学校部分有り |
| 2 | 山陰労災病院 | | 鳥取県米子市<br>皆生新田1-8-1 | 病院 | | | | | |
| | | 本館部分 | | | （一財）日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第２次診断法」<br>（1990年版） | Is/Iso=1.20<br>$C_{TU}$・$S_D$=0.41 | | | 改修済 |
| | | 新館部分 | | | （一財）日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第２次診断法」<br>（1990年版） | Is/Iso=1.00<br>$C_{TU}$・$S_D$=0.50 | | | 改修済 |

## 【集会所、公会堂】

| No. | 建築物の名称 | | 建築物の位置 | 建築物の主たる用途 | 耐震診断の方法の名称 | 構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果 | 耐震改修等の予定 | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | 内容 | 実施時期 | |
| 1 | グランラセーレ米子 | | 鳥取県米子市<br>米原五丁目5-1 | 集会場 | | | | | |
| | | １階～５階、<br>６階から上部の<br>一部分 | | | （一財）日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第２次診断法」<br>（2001年版） | Is/Iso=1.57<br>$C_{TU}$・$S_D$=0.67 | | | 改修済 |
| | | ３階の一部、<br>６階から上部<br>の部分 | | | — | — | | | 除却済 |

## 【集会所、公会堂】

| No. | 建築物の名称 | 建築物の位置 | 建築物の主たる用途 | 耐震診断の方法の名称 | 構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果 | 耐震改修等の予定 | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 内容 | 実施時期 | |
| 1 | 米子高島屋　北館 | 鳥取県米子市<br>角盤町一丁目30番地 | 百貨店 | （一財）日本建築防災協会による　「既存鉄骨鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造建築物の耐震診断基準」に定める「第２次診断法」<br>（2009年版） | Is/Iso=1.06<br>$C_{TU}$・$S_D$=0.48 | | | 改修済 |

## 【ホテル、旅館】

| No. | 建築物の名称 | | 建築物の位置 | 建築物の主たる用途 | 耐震診断の方法の名称 | 構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果 | 耐震改修等の予定 | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | 内容 | 実施時期 | |
| 1 | 旧かいけ彩朝楽 | | 鳥取県米子市<br>皆生温泉4-29-11 | 旅館 | | | | | |
| | | 旧館棟部分 | | | （一財）日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第２次診断法」（2001年版） | Is/Iso=0.71<br>$C_{TU}$・$S_D$=0.40 | 耐震改修 | 未定 | |
| | | 新館棟部分 | | | （一財）日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第２次診断法」（2001年版） | Is/Iso=0.50<br>$C_{TU}$・$S_D$=0.28 | 耐震改修 | 未定 | |
| | | 旧館の<br>増築棟部分 | | | （一財）日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」（2011年版） | Is=0.15<br>q＝0.60 | 耐震改修 | 未定 | |

## 【幼稚園、保育所】

| No. | 建築物の名称 | 建築物の位置 | 建築物の主たる用途 | 耐震診断の方法の名称 | 構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果 | 耐震改修等の予定 | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 内容 | 実施時期 | |
| 1 | 東みずほ幼稚園 | 鳥取県米子市<br>福市1730-9 | 幼稚園 | （一財）日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第２次診断法」（2001年版） | Is/Iso=1.02<br>$C_T$・$S_D$=0.76 | | | 改修済 |

## 【自動車車庫その他の自動車又は自転車の停留又は駐車のための施設】

| No. | 建築物の名称 | | 建築物の位置 | 建築物の主たる用途 | 耐震診断の方法の名称 | 構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果 | 耐震改修等の予定 | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | 内容 | 実施時期 | |
| 1 | 米子駅前商店街<br>振興組合<br>共同駐車場ビル | | 鳥取県米子市<br>明治町140番地 | 駐車場 | | | | | |
| | | 店舗部分 | | | （一財）日本建築防災協会による　「既存鉄骨鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造建築物の耐震診断基準」に定める「第２次診断法」（2009年版） | Is/Iso=1.61<br>$C_T$・$S_D$=0.71 | | | |
| | | 駐車場部分 | | | （一財）日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」（2011年版） | Is=0.32<br>q＝1.16 | 耐震改修 | 未定 | |

## 附表　耐震診断の評価の結果と構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価

| 耐震診断の方法の名称 | 構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性 | | |
|---|---|---|---|
| | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ |
| (一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（1997年版） | Is/ISO＜0.5又は<br>$C_T$・$S_D$＜0.125・Z・G・U | 左右以外の場合 | 1.0≦Is/ISOかつ<br>0.25・Z・G・U≦$C_T$・$S_D$ |
| （一財）日本建築防災協会による　「既存鉄骨鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造建築物の耐震診断基準」に定める「第２次診断法」（2009年版） | Is/ISO＜0.5又は<br>$C_{TU}$・$S_D$＜0.125・Z・Rt・G・U | 左右以外の場合 | 1.0≦Is/ISOかつ<br>0.25・Z・Rt・G・U≦$C_{TU}$・$S_D$ |
| (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（1990年版） | Is/ISO＜0.5又は<br>$C_T$・$S_D$＜0.15 | 左右以外の場合 | 1.0≦Is/ISOかつ<br>0.3≦$C_T$・$S_D$ ≦1.25 |
| (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2001年版） | Is/ISO＜0.5又は<br>$C_{TU}$・$S_D$＜0.15・Z・G・U | 左右以外の場合 | 1.0≦Is/ISOかつ<br>0.3・Z・G・U≦$C_{TU}$・$S_D$ |
| （一財）日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」（1996年版） | Is＜0.3又は<br>q＜0.5 | 左右以外の場合 | 0.6≦Isかつ<br>1.0≦q |
| 「屋内運動場等の耐震性能診断基準」 | Is＜0.3又は<br>q＜0.5 | 左右以外の場合 | 0.7≦Isかつ<br>1.0≦q |

Ⅰ．地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。

Ⅱ．地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。

Ⅲ．地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。

（※）震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。
いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対しては損傷が生ずるおそれは少なく、倒壊するおそれはない。

（※）特記無い限り、Z=0.9、G=1.0、U=1.0、Rt=1.0